

# 知っていますか？結核が現代の病気だってコト

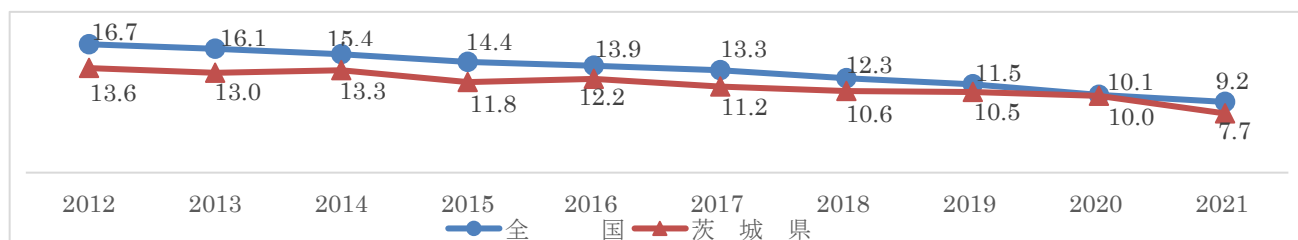
## 9月24日～30日は結核予防週間です！！

### 結核予防週間とは

毎年9月24日から9月30日を「結核予防週間」と定めて、結核に関する正しい知識の普及啓発を図ることとしています。

日本の結核の現状は、2021年には11,519人の患者が発生し、1,844人が死亡しています。患者数は減少傾向で低まん延国となったものの、他の先進国と比べると罹患(りかん)率は依然高く、わが国最大の感染症の一つです。

茨城県においては、2021年では221人の方が罹患(りかん)し、治療を受けています。最近では既感染者の高齢化に伴う発生事例の増加、抗結核薬の効かない多剤耐性結核菌の出現、若年層における外国生まれの結核や病院の医療従事者や施設における結核の発生などもあり、憂慮すべき状況であります。



### 結核は、過去の病気ではありません！年1回は健康診断、赤ちゃんはBCG接種を受けましょう！

結核は、“昔の病気”と思われる方も多いと思いますが、日本においては、今なお主要な感染症です！

結核は、結核菌によって主に肺に炎症が起こる病気です。咳やくしゃみなどのしぶきと一緒に、結核菌が空気中に飛び散り、それを周りの人が直接吸い込むことによって感染します。

結核に感染しても、必ず発病するわけではなく、健康であれば、免疫の働きによって結核菌を抑え込んでしまいます。

結核の初期症状は風邪に似ています。

- 咳(せき)が2週間以上続く
- 痰(たん)が出る(痰に血が混ざる)
- 体がだるい
- 微熱が続く



シールぼうや (複十字シール運動)

自分自身の健康を守るのはもちろんのこと、家族や友人などへの感染を防ぐためにも、早期発見・早期治療が重要です。定期的に健診を受け、上記のような風邪かなと思う症状が長く続くようなら、必ず診療を受けてください。

現在は様々な結核の治療薬が開発されており、3～4種類の薬を6～9カ月きちんと飲めば治ります。赤ちゃんの予防には、生後5か月から8カ月のBCG接種が推奨されています。

【結核に関する相談・お問い合わせ】茨城県中央保健所保健指導課 029-241-0571